

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
政策企画部	まちづくり定住課	1	小さな拠点づくり	井田地区については、これから勉強して、メンバーづくりから始めようとしているところ。地域交通や買い物支援の問題があるが、正直、本当に困っているのかということも分かっていないのが現状。みんながこの地区で生活していくという前提で考えたとき、目先の小さな取り組みだけでは、なかなかニーズにマッチできないような印象を持っている。これから本当のニーズを調べながら、動いてみたいと思っているので、そのときにはいろいろと事例を紹介してもらいたい。	持続可能なまちづくり(小さな拠点づくり)を進める上で、地域住民の皆さんが自ら地域の状況や課題について話し合い、把握していくことが、その第一歩となるものであり、最も重要と考えております。 市では、現在、各地域における勉強会や話し合いに出かけ、持続可能なまちづくり(小さな拠点づくり)の内容の説明や先進事例の紹介に努めているところです。 引き続き、各地域へ出かけ、地域住民の話し合いへの参画や、コーディネートを行うとともに、先進地の取り組みだけではなく、組織づくりや計画づくりのプロセスなど、地域が必要とする情報や事例を紹介しながら、住民の皆さんと一緒に持続可能なまちづくり(小さな拠点づくり)を進めていきたいと考えております。
		2	ふるさと納税を増やす取り組み	総務省が返礼品の割合を概ね3割に自粛するよう要請したため、大田市は見直して減少している。一方で、見直さない自治体は九州に多い現状があるが、ルールを守りながら増やしていくような取り組みは、実施すべきではないのか。	平成29年9月から返礼割合を3割以下へ見直しを行っており、寄附額の減少が想定されたことから、同年10月と12月に新たなポータルサイトへの掲載及び寄附受付を開始したところです。 また、寄附を確保するための新たな取り組みとして、使途に共感いただき寄附していただくことを目的に、今年度、使途を詳細に明示したクラウドファンディングでの寄附を募ることとしております。 返礼品競争が過熱する中、この度の返礼品の法制化により、一定のルールに基づいた競争となることから、市としても、皆さんに共感していただける使途の設定、地元企業等と協力しながら特色ある返礼品のラインナップなどに取り組み、寄附額の確保に努めていきたいと考えております。

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
総務部	危機管理課	3	災害対応	災害に対する予算はどうか。 また、災害時に避難する建物を鳥井運動公園に建ててほしい。	災害に対する予算は、国県補助金、起債、基金等の活用により対応することとしています。 鳥井町の運動公園は緊急的に避難し、身の安全を確保する場所として指定緊急避難場所に指定しており、その予定はございません。また、運動公園は応急仮設住宅建設の候補地の一つとしています。
		4	避難所	志学まちづくりセンターは土砂崩れ危険区域に入っており、大雨時の避難場所に使用できないので、建て替えを視野に入れてほしい。 まちづくりセンターや体育館など避難所になる施設において、電波が悪くてラジオが受信できない、固定電話がない、エアコンが設置されていないなど問題があるので対処していただきたい。	志学まちづくりセンターにつきましては、避難場所としての利用ができないなどの問題があることから、新たな整備に向けて、地域ニーズの集約や候補地の選定など、今年度から地元と協議を進めているところであります。 避難所の開設が長期化する見通しの場合は、NHKやNTTと連携を図りながらテレビ・ラジオ及び公衆電話の設置、レンタル等による空調設備の整備を図ることとしています。
	総務課	5	自治会	地域の小自治会が維持できなくなっている。町外でも同じような話を聞く。自治会のあり方（体制）について考えてほしい。	当市のみならず、若者の市外への流出や少子高齢化の影響もあり、単体での活動が困難になりつつある自治会が、少なからず存在することは認識しています。今後、自治会の運営・維持などが困難な状況である場合には、近隣自治会との話し合いなどもご検討いただければと存じます。
	人事課	6	支所のあり方	今後、温泉津支所はどうか。	温泉津、仁摩両支所ともに当面の間維持するものとします。
		7		支所の対応について、これまでと同様な対応を心がけてほしい。	支所の機能は当面現行どおりとして、窓口業務についてはこれまでと同様に行います。ただし、住民サービスに影響の少ない業務は本庁に移管することとして、今後調整を行います。
	財政課	8	財政健全化	概ね、大田市の財政は健全であろうかなと思う。気になることは市税収入が35.8億円に対し、公債費が33億円となっており、決していい姿ではないので、できるだけ公債費率を下げていく必要がある。健全な大田市に揺り戻していただきたい。例え話であるが、土地改良事業で地元負担金があり、農道部分や用排水路部分については大田市が持ちましようということがある場合、その事業費を債務負担行為として計上することがあるのかを伺う。その場合、公債費率の上に隠れ借金としてあるのであれば問題である。	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体は毎年度その健全化判断比率を公表しなければならないことになっており、大田市においても大田市のHPにおいて公表を行っています。お問い合わせのありました土地改良事業で地元負担金があり、その農道部分や用排水路部分について、一般車両の交通量や一般家庭から流れ込む生活排水の量を勘案する中で大田市が負担したことはこれまでもあった事例です。この場合は後年度大田市が負担する額を債務負担行為という予算で計上することになります。この債務負担行為額は健全化判断比率の判断項目である実質公債費比率や将来負担比率の計算に算入されることになっているため、この債務負担行為額を含めて計算したものを公表していますので、ご指摘のような扱いにはなっていません。

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
総務部	財政課	9	予算内容	放課後児童健全育成施設整備事業の予算が前年度より大幅に減ったのはなぜか。全国植樹祭推進事業の最終的な予算はどのくらいか。市役所窓口に出向いても、「お金がない」の一点張りで話を聞いてくれない。	放課後児童健全育成施設整備事業については、放課後児童クラブの運営団体からの要望を受け、事前協議のうえ予算化をしています。前年度は対象となる施設が2施設であったのに対し、今年度は予定が1施設であったために予算額は大幅減になっています。 全国植樹祭推進事業は今年度24,300千円を予算化しています。来年度、再来年度の必要経費につきましては、今後事業の実施方法が具体的に確定していくにつれ、予算見込額が決まっていきます。参考に今年度、事業実施された福島県南相馬市の例でいきますと、実施年度と前年度の2か年で40,000千円程度の経費が掛かったと聞いています。 予算につきましては、大変厳しい財政状況のもと、限られた財源を各事業に配分していますのでご理解を頂きたいと思いますが、「お金」が無くてもできることもありますので、まずはお話を聞きするという対応を徹底していきます。
		10	今後の自主財源の確保策	歳入の内、自主財源が28.6%と少ない。今後どのようにして財源を確保し、市政にあたられるのか基本的な考え方を示してほしい。	当市は歳入全体に占める市税収入の割合が低く、収入の多くを国・県に依存している状態になっています。今後は地域産業の強化、市外企業の誘致などの税源涵養に資する産業の活性化・雇用の創出のための施策を推進することによって、経済を活性化させ、税収の増加を図っていきます。また、税・料等の徴収率向上や未利用財産の売却推進、使用料・手数料などの受益者負担の適正化を図っていくとともに、ふるさと納税の促進にも積極的に取り組んでいきます。
	管財課	11	施設周辺の樹木整備	使用していない公共施設の近くに樹木が植えてあるが、後年に大きくなると伐採に多額の予算がかかるので、早めに対処した方が良くと思うがいかがか。	現地確認を行ったうえで、施設所管課と協議を行い適切に対応します。

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
健康福祉部	地域福祉課	12	通いの場づくり	現在、井田地区では20名の登録者がいる。事業の一環で遠出する事業を年数回実施する場合、温泉津町の「すいせん号」を利用したいと思っている。今まで月1回の調整会議でお願いしたことがあるが、福祉バスということで障がい者団体や老人クラブ団体しか利用できないとの回答であった。ただ一度だけ「びしゃもん」に行くときに利用させてもらった。福祉目的で利用する訳で、無料とは思っていないがどうか。民間でレンタルすると高くつき、経費が賄えない。かつては、地区社協が実施する社会教育の一環で実施した「ふれあい学級」を開催する際には、参加者を集めるための手段として巡回して利用したことがあるが、それが今は使えないという状況になっている。	福祉バスの運行は、社会福祉協議会の事業であり、社会福祉協議会の規定により実施されています。 (委託料など財源を持たない高齢者や障がい者福祉活動が対象であり、委託事業は使用できないこととなっています。)
	子育て支援課	13	認定こども園	保育機能と幼児教育機能を併せ持った認定こども園は、全然進んでいない。教育ビジョンにもあるように、進めていくべきではないか。	平成30年度から保育所型の認定こども園が1園となっています。今後も、住民ニーズ把握に努め、教育委員会をはじめ関係団体と協議を継続して行い、必要に応じて認定こども園化を進めていくこととします。
	健康増進課	14	保健師の配置体制と役割	温泉津支所に保健師が配置されていない。現在どのような配置体制になっているのか。地域包括ケアセンターのケアマネージャーの動きと保健師の動きと共通している部分があると思えてならない。合体したような仕事にすれば、雰囲気が変わるのではないか。ケアマネージャー的な相談を受けながら、保健師としての仕事を行えるメリットが出てくる。	温泉津・仁摩両支所には平成23年度まで1名ずつ保健師を配置しておりましたが、現在は本庁に集約し、各地区に担当保健師を配置し、1名が温泉津地区を担当しています。 健康増進課保健師は、妊産婦、乳幼児から高齢者の健(検)診や健康教育、健康相談、家庭訪問、各まちづくりセンターを中心とした地域での健康づくり活動に関わっています。 一方地域包括支援センターのケアマネージャーは、地域の高齢者の方の介護や福祉に関する相談支援を行っています。相談内容に応じて、地区担当保健師とケアマネージャーが連携し対応しています。
	介護保険課	15	仁摩老人福祉センターびしゃもん	相次ぐトラブルがあるが、びしゃもんの経営に影響はないのか。	びしゃもん温泉について、平成29年度はレジオネラ属菌対策のため浴場営業日が前年の約4割となりました。また、平成30年度は4月9日発生の地震による被災箇所修繕のため浴場を約5ヶ月間休場したことから、例年より収入減となる見込みです。

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
環境生活部	環境政策課	16	環境保全整備	大江高山の登山道だが、以前は地元有志で除草作業等の登山道保全活動を行ってきた。現在、広島県を中心に多方面からの登山客も来山していただいている状況であるが、高齢化が進み、地元住民では保全活動が困難な状況である。保全活動に資する予算措置あるいは、環境整備に即した保全活動等、行政側で対応いただくことはできないか。	希少動植物が生息している三瓶山や大江高山周辺については、関係機関・保全団体の皆様と連携し、周辺環境の保全に努めているところです。市では市民団体などが取り組む自然環境に関する保全活動や普及啓発活動について、活動費の一部を助成する制度を設けています。これまで地域の皆様で取り組まれているところであり、環境保全活動支援事業補助金の活用について、ご検討をお願いしたいと考えております。
		17	風力発電	鳥井町に、小型風力発電建設の予定がある。建設場所については様々な課題があり、地元プラスにならないと反対の意見が出ている。ルールとして住民の賛成を得て建設をしてほしい。	小型風力発電施設の建設に当たっては、現在拘束力のある法律などはありません。事業の実施については、地域住民の理解を得ながら進められるよう文書により事業者に求めていきます。また、市独自のガイドラインの制定について、情報収集を行いながら引き続き検討してまいります。

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
産業振興部	道の駅推進室	18	仁摩道の駅	<p>開駅した後の経営責任は、最終的に大田市にある。設備投資はしたが採算が合わない懸念がある。概ね5年くらいはやっていけるかと思うが、6年目以降の見極めというか、元々の投資(経費)の削減ができないのか。仁摩・石見銀山ICを降りた車は、現状10台、石見銀山方面には1台くらいしか向かわないように思う。静間間が通行できるようになると、さらに減る可能性があるとともに、石見銀山遺跡へのアクセスは大田、広島方面からもあり、焦点のぼやけた立地条件である。この悪条件を克服するためには、大田市を代表する自立した産品(土産品)が提供できる体制が必要である。そのためには、提供できる団体等を単に募集するというにとどまらず、育成していくことが不可欠である。</p> <p>設置に向け、地元住民を盛り上げていく努力をしていただきたい。</p> <p>道の駅に温泉を引くことはできないのか。</p>	<p>仁摩道の駅(仮称)については、産地直売の充実や新規特産品の開発、恒常的な賑わいづくりなど、仁摩道の駅(仮称)ならではの魅力をしっかりと打ち出して集客を図り、安定経営に繋げて参ります。</p> <p>施設については、魅力ある道の駅の運営に必要な機能に絞り込み、当初整備計画より規模を縮小しコンパクトにスタートしたいと考えております。</p> <p>山陰道が開通した際には、通行車両の増加が見込まれます。そこで、新たに道の駅を整備することにより、通行される車を山陰道から引き込む仕組みを作りたいと考えています。</p> <p>大田、広島方面から来られる観光客も、仁摩道の駅(仮称)から観光をスタートしてもらえようような仕組み作りや、大田市を代表する『ここにしかない』特産品開発など、道の駅に立ち寄りたくなる仕掛けを、関係団体や事業者、地元の方々と協議を重ね検討してまいります。</p> <p>温泉という意見をいただきました。当初は足湯をつくり、集客を図りながら市内温泉のPRを図ろうと検討していましたが、設置費や維持費に莫大な費用がかかるため設置を断念しております。</p> <p>現在は道の駅において、近隣及び市内の温泉施設への誘客を図るための情報発信を積極的に行いたいと考えております。</p>
	農林水産課	19	有害鳥獣対策	<p>有害鳥獣策をもっと効果的なものにしてほしい。今後、特にサルの被害が深刻になっていくのではないかと。</p>	<p>大田市では、駆除活動を優先した被害対策から、農業者と大田市鳥獣被害対策実施部隊が共同で取り組む防除と捕獲対策により、農作物被害が減少し一定の成果を出しております。</p> <p>効果的な鳥獣被害対策を行うためには、地域ぐるみで農地を守ることが大切であり、集落にサルを寄せ付けないという意識を住民の皆さんにも持っていただき、環境整備と農地周辺の防護対策の両方を行うことが必須です。無計画な捕獲対策は逆に被害の増加につながることもあるため、被害を抑制するためには、住民・鳥獣被害対策実施部隊・行政が一緒になって対策に取り組む必要があると考えております。</p>
	森づくり推進室	20	全国植樹祭の活用	<p>全国植樹祭に天皇陛下がいらっしゃることで、大田市内の何ヶ所かお寄りくださるよう要望してほしい。</p>	<p>天皇陛下には大田市の良いところを色々ご覧になっていただきたいと考えています。ご滞在時間が限られていることや警備の問題もありますが、市としても働きかけていきたいと思っております。</p>

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
建設部	都市計画課	21	大田市駅前周辺の活性化	地震の被害で、大田市駅前周辺の都市計画が何年か遅れるのか。	大田市駅前周辺の都市計画について、地震被害の影響により事業実施が遅れるとは考えていません。地震により建物に被害や解体をされたものもあり、影響が出ているのも確かですが、大きな事業が遅れるような影響はありません。
		22		市民から見て、大田市駅前が非常に閑散としている。勢いが無い、元気が無い、街に出ても一方通行、このような市は他にない。駅前再開発の問題は、出始めてから15年くらい経過し、もうどうでもいわずという機運が出ている状況である。立地適正化計画と密接に関連しているため、それとの整合性を図りながら取り組んでもらいたい。	大田市駅前周辺については、立地適正化計画においても、重点的に対策が必要な区域と考えており、「大田市駅前周辺東側土地区画整理事業」を核事業のひとつとして位置づける予定としています。また、大田市駅前周辺の賑わいの創出を目的とする「中心市街地活性化基本計画」の策定にも取り組んでおり、各計画との整合性を図りながら、連携して大田市駅前周辺のまちづくりに取り組んでまいります。
	土木課	23	市道の草刈り	現在、市道4kmの草刈りを何とか地元で実施しているが、一集落できないというところが出てきた。あと4、5年すればもっと増え、維持できなくなると思う。その際には、市として協力してもらいたい。	現在、市で実施しております除草業務は、市道1,716路線、971kmのうち、114路線、131kmとなっています。(経費は約50,000千円)このように、市道の大部分につきましては、自治会での道路愛護団等の作業により管理していただいているところです。 今後、人口減少、高齢化等により地元での除草業務を行うことが難しくなっていくであろうことは承知しておりますので、地元自治会等の皆様と協力しながら、計画的に対応をしていく必要があると考えております。
		24	道路整備	4月に地震、7月に豪雨があり、三瓶上山地区の道路で何か所かヒビ割れや崩落が発生しているため、早めに直して欲しい。 三瓶公園線において、沿道の木々が茂って交通の邪魔になるので対応してほしい。 市道の改修、草刈などの維持をしてほしい。道路側溝についても同様である。	市道の災害復旧につきましては、順次実施しております。地震により被害につきましては、広範にわたり全てを把握しているとはいいがたい部分もあり、お気づきの際はご連絡をお願いします。 三瓶山公園線につきましては、島根県管理となっておりますが、その中には市有地も存在するため、県に通知するとともに連携して対応していきたいと考えております。ご承知のとおり、国立公園地内となっているために、手続き等に時間を要する場合がありますので、ご理解いただきたいと思います。 市道の草刈及び側溝清掃については、限られた予算の中、順次進めているところではありますが、近年では猪等の獣害による側溝への土砂堆積なども増えており、苦慮している状態にあります。今後もできる限り自治会等によるご支援をいただきたく思いますが、緊急性、危険性の高いものにつきましては、土木課へご相談いただきたいと思います。

平成30年度議会報告会開催における市民の要望・意見

部	課	No.	表題	意見・質問の内容	回答
建設部	土木課	25	河川の浚渫	福田地区の河川は泥が堆積しており、7月6日の大雨の際には、あと50～60cmですぐ脇の田んぼに入る状況であった。前々から言っているが、浚渫してもらい予算が全くつかない。災害が起きた、では治しましょうではなく、計画的に浚渫する予算をつけてもらいたい。	市管理河川は、109河川、188kmあり、浚渫につきましては、多数の要望をいただいております。年次計画で順次行っております。福田地区につきましては、来年度、横道川の浚渫を予定しております。限られた予算で順次行っておりますのでご理解をお願いいたします。
病院事務部	総務課	26	新大田市立病院の整形外科医の確保	どうしても整形外科医を確保して、開院してほしい。病院ボランティアに行っているが、整形外科は9時半くらいから新患は紹介状のみだと断ってくださいと言われて、断るのが苦痛になっているのが現状である。整形外科の患者は本当に困っている。	整形外科の診療につきましては、予約患者さんが多い場合には、診療制限をさせていただくなど、ご不便をおかけしております。現在、安定された患者さんには同意の上で、ご希望の診療所にご紹介させていただくなどの対応をしているところであります。常勤の整形外科医の確保は不可欠ですので、島根大学医学部への派遣協力要請を継続して行い、一刻も早く着任していただけるよう努力してまいります。
教育部	総務課	27	小中学校のエアコン、運動会	小中学校エアコン設置問題はどうか。小中学校の運動会は春季にすべきである。	小中学校のエアコンにつきましては、今夏の猛暑に鑑み、来年夏までの設置を目指して、現在設置計画を策定しているところです。運動会につきましては、各学校において、地元との調整の中で、開催時期を決めていただいております。大田市教育委員会として統一する考えはございません。
	石見银山課	28	石見银山	石見银山の遊歩道に石が落ちている。観光客増加のためにも、直ちに整備すべきである。	この落石は島根県西部地震による石垣の崩壊により生じたものであります。文化財の石垣修理は、元の形に復元するため、落ちた石の状況を観察、記録する必要があります。復旧事業は文化庁補助事業として、9月に予定される事業の実施承認を受けて進めることとしております。
消防部		29	消防	大田消防署三瓶出張所は新築、または耐震工事をされる予定はあるか。	経年老朽化に加え、地震により被災したため、活動拠点施設として、今年度から現地建替えとし事業着手いたします。
選挙管理委員会		30	選挙公報	この度の市議会議員選挙が無投票になり、選挙公報が送られてこなかったことで、選挙管理委員会に問い合わせしたところ、準備はしており、告示を受けてすぐ印刷に入り、発送する手順を予定していたとの回答。ベテラン議員はともかく、新人候補者が何を訴えたいのか知る術がなかったため、今後は無投票になったとき善処してもらえないか。	選挙公報は、候補者の政見等を選挙人に周知し、選挙人が投票する際の判断材料を提供するために発行するものです。大田市議会議員選挙の選挙公報については、公職選挙法及び「大田市選挙公報の発行に関する条例」に基づいて、大田市選挙管理委員会が発行しています。このたびの市議会議員選挙におきましては、発行の準備を進めておりましたが、無投票になったことから、同条例の規定に基づき、選挙公報の発行を中止したものです。上記のとおり、無投票の場合は、選挙公報の発行を行わないこととしており、市長選挙の場合も同様の取り扱いをしております。